

## 第9回松戸駅周辺まちづくり委員会議事録（概要版）

日 時 平成29年8月22日（火）10時～11時30分

場 所 松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席委員 委員12名（別紙委員名簿のとおり）

欠席委員 山崎委員、横井委員、雨宮委員

事務局 街づくり部審議監、街づくり課長、街づくり課専門監  
他11名

傍聴者 5名

### 議 題

1. 新拠点ゾーン整備基本構想について
2. その他

### 配付資料

1. 次第
2. 説明資料

## 新拠点ゾーン整備基本構想について

### 【委員長説明】

- ・ 新拠点ゾーン整備基本構想素案の検討にあたっては、検討専門チームにて検討を行ってきました。
- ・ 2ページは、新拠点ゾーン整備基本構想策定の背景、経緯を掲載しています。
- ・ 3ページは、松戸市を取り巻く状況、社会経済動向等の整理となっています。
- ・ 4ページから8ページは、関連する計画を示しています。
- ・ 9ページからは、新拠点ゾーンの基本方針となっています。
- ・ 9ページは、まず、周辺区域の現状ということで、生かしたいポイントと改善したいポイントに分けて整理してあります。
- ・ 10ページは、コンセプトとして「まつど・新・シビックコア」とし、具体的な目標を3つ掲げました。
- ・ 11ページでは、目指すべき方向性を実現するための基本方針を「機能のあり方」「空間のつくり方」「計画のすすめ方」の3つに分類して掲げることといたしました。
- ・ 12ページから15ページにおいては、「機能のあり方」「空間のつくり方」「計画のすすめ方」を整理しています。
- ・ 16ページでは、新拠点ゾーンのエリアを示しています。
- ・ 17ページでは、基本構想策定までの流れ及び事業の流れを示しています。

### 【審議内容（各委員からの意見）】

- ・ 新拠点ゾーンには、情報を発信する機能も加えてはどうか。
- ・ 観光施設そのものをつくる必要があるわけではないが、市民だけでなく、市外からも人を呼び込む展開が必要である。
- ・ 具体的な施設は、現段階で決まっていないが、図書館が配置されるのであれば、基本的な機能である読書スペースに加え、生涯学習機能や子どもから高齢者までが楽しめる体験できる機能やカフェがあると良い。
- ・ 市民だけでなく、松戸駅周辺の地権者など地元の意見を聞くことも大切である。
- ・ 公共文化施設をとりまく環境は、大きく変わっており、従来は、そこで講演がおこなわれ、それを鑑賞するという受動的な場だったが、これからのホール劇場と言うものは、むしろそこで新しい文化を創造して発信し、さらに、社会包摂の場になるということが求められている。例えば障がいのある方や子ども、高齢者など多世代、多様な方々がそこで集い、居場所になるようなそういう良さもこれからの施設には求められている。
- ・ 建物建設の際は、統一性がありながらも、特徴のあるデザインにした方が良い。
- ・ 一つの建物とするか複数の建物とするかは、どのくらいの床面積が必要であるとか、事業性は、どちらがいいかということを今後、検討する必要がある。
- ・ 松戸市全体の中心としてふさわしい、内容と質が求められている。
- ・ 松戸市内には、様々な活動をされ、優れた実績をあげている方がたくさんいるので、そのような方々を生かすことが必要である。

### その他

- ・ JR松戸駅バリアフリー工事の着手について（報告）

議事録署名委員 元倉 眞琴 副委員長  
岩田 富久司 委員